



<読書の秋>というこで、読書特集を組みました。大人も子どもも本に触れ合い、心豊かに秋を過ごせるとよいかと思います。

<栃木県>では、子どもの読書活動推進の方策の一つとして、読書を通して家族の絆を強め、子どもたちの心の豊かさをはぐくむため、家族で本を読み、コミュニケーションを図る“家読(うちどく)”を推進しています。

<小野寺小学校>では、次のような計画で校内読書週間を実施しています。

1 目的

読書週間を通して、児童の読書への関心を一層深め、すすんで本を読む態度を育てる。

2 期間

10月31日(月)～11月11日(金)

3 内容

(1) うちどくカード

読書週間より先行して、10/17の「うちどく日」の前に、各家庭に用紙を配付し、回収後掲示する。「おうちの方からひとこと」のコーナーへのご協力ありがとうございました。(11/30の授業参観の際等にご覧ください。)

(2) オリジナルしおり展覧会

読書週間より先行して、児童全員に用紙を配付し、オリジナルのしおりを作成してもらう。図書室に掲示後ラミネートして、読書すごろくの景品とする。



(3) 読書すごろく

図書室に本を借りに行ったときにさいころをふって、出た目の数をルールに従ってすすめていく。

(4) 感想文の発表

青少年読書感想文コンクールに応募した作品を、代表児童3名に給食時に放送で読んでもらう。

(5) 図書委員による本の読み聞かせ

図書委員が、給食の時間に放送で本の読み聞かせをする。

(6) としよしつだよりの発行

各家庭に読書週間の周知をする。

4 読み聞かせ(朝の読書の時間)

・11月7日(月) つくし会の皆さん

・11月8日(火) アリスの会の皆さん

<かるがも岩舟>の高久様より、10/5に開催された「ハッピー子育て講座(家庭教育学級)」の時に寄せられた保護者の皆様のご感想をまとめたものをいただきました。

保護者の皆様のあたたかい思いが感じられ、大変感銘を受けました。ありがとうございます。抜粋して紹介させていただきます。

・同じ本を読んでも子どもと私では感じ方が違うんだなと自分の経験を振り返ってみても思いました。子どもの思っていることも大切にしていきたいと思いました。

・小学生になったら親子で読み聞かせをする時間もなくなってしまったので、これを機会に読み聞かせをし、読書の楽しさを教えたいと思います。

・心を落ち着かせて読書をするのが大切だなと思いました。少しの時間でも子どもに自分の声で本を読んでいきたいです。

・伝えたいことは「今」きちんと言葉で伝えたいと思いました。本の読み聞かせをもっとしたいと思います。

・子どもの気持ちを受け止めて認めてあげる事が大切だと思いました。

・どんなに忙しくても子どもと接する時間を少しでも増やしていけたらと思います。親の“声”を聞かせる。子どもの“気持ち”をきちんと聞く。なぞなぞ等“楽しい時間”を共有する。

・なかなか自分から進んで本を手にとろうとしないので、もっと本に触れる機会を親としてつくってあげればと思いました。

・寝る前の少しの時間でも同じ時間を共有して、親子で過ごしたいと感じた。スマホの動画など一方通行情報が多い今、コミュニケーションの原点を振り返れた。

・口に出して、「好きだよ」って伝えてみようと思った。今しか出来ないかもしれないので。後悔したくないので。

・本の話などで、子どもとコミュニケーションを取っていくことが大事だと思った。

・物語に限らず、レシピ本などでも読書をしたということになると書いてあったので、それなら少しずつ進められそうと思います。

・「ずーっとずっと大好きだよ」の本の読み聞かせを聞き、思わずうるっとしてしまいました。（本に）出あう時が違うと感じ方がまた違うんだなと思いました。これからまた良い本に出あえるよう図書館へ行ったり、映画を観たりしたいです。

・私も小学生の時に習った「ずーっとずっと大好きだよ」というお話、本日読んでいただき、人の話し方でも感じ方が変わると感じました。“肉声は貴重”だとおっしゃっていましたが、本当にそのとおりだなと思いました。

・親子読書ができていないので、これから心がけてみようかと思うきっかけになりました。

・誕生日のジェスチャーが楽しかったです。子どもが最近マンガを読みたがるのですが、内容にもよるのですが、読ませていいのか迷う時がありました。

・今日読んで頂いた本は、家でも読み聞かせをしましたが、私が読んだスピード・声のトーン・感情の入れ方と違い、とても心に響きました。読み方も工夫して読んであげたいと思いました。

・理想を言えば、親が本を読んでいる姿を見せておきたいなと思います。子供が寝た後の時間ではなく、一緒に読む時間を共有できたらなあ…。

・子どもの宿題（音読）の時、ただ聞くのではなく、「今日はママが読んでみようかな」と言ってみようと思います。

・読み聞かせをすること、してあげるとは、親子のコミュニケーションの中で大切と思いつつ、忙しさを理由にあまりしていなかったのが現状です。子どもたちと一緒に本を読む習慣をつけていけたらと思っています。

・この講座でゆっくりと考えることができ、心がスッキリした感じがしました。仕事、半分休みをとって良かったです！

・子どもと一緒に読む大切さを改めて気づきました。大好きなお母さんやお父さんの声で読み聞かせすることにより、子どもも親も心の豊かな時間を作ることができる。これからも読み聞かせを続けていこうと思います。

・大人になって絵本を読んでもらう機会はなかったもので、人の声で読んでもらう本はとても素敵な体験でした。一人で読む本も良いけれど、たまには読んでもらう本も良いなと思いました。人の声ってあたたかくて安心するなあと思いました。

・毎日、子どもの音読を聞いていますが、今度は、私が子供に本を読もうと思いました。

・この歳になると読み聞かせをしてもらうことなんてないので、とても貴重な時間でした。心が温かくなりました。読書は苦手ですが、簡単なものからでも読んでみたいなと思いました。

・誕生日の順に並ぶ活動があったことで、リラックスして参加させていただくことができました。絵本を通して、家族やお世話になっている方々に日頃から感謝の気持ちを伝えていきたいと思いました。今日一日、優しい気持ちで過ごせそうです。

<子どもといっしょに読みたい11冊>

藤原和博氏

- ① ずーっと ずっと だいすきだよ
- ② バーバパパのいえさがし
- ③ ろけっとござる
- ④ ぐりとぐら
- ⑤ あめふり
- ⑥ おしおのぼうけん
- ⑦ じごくのそうべえ
- ⑧ おふろだいすき
- ⑨ いちねんせい（谷川俊太郎詩）
- ⑩ だるまちゃんとかみなりちゃん
- ⑪ 地球（加古里子 作・絵）

※谷川俊太郎の詩といえば、私の中では、何といても「卒業証書」ですが(▽)/
